

【地域の概要】

- 管内の農地面積は965haであり、そのうち集積面積は506ha、集積率は52.4%である。（令和7年3月31日時点）
- 平野部は水田、山間部は茶畑が多く存在し、水田を中心に集積が進んでいる。集積が進んでいる水田についても担い手の高齢化による後継者の確保、茶畑については離農が課題となっている。
- 当地区は池田町東部に位置しており、耕地面積は約48haである。

①取組開始前の状況や課題

萩原地区の状況

- 地域の集落営農組織が主に耕作しているが、組合員の高齢化などにより後継者不足が課題となっている。
- 令和6年度は、ヨトウムシによる野菜や大豆への害虫被害が特に多かった。

②取組内容

遊休農地発生防止の取組
(令和6年11月)

- 集落営農組織の一員でもある萩原地区の農地利用最適化推進委員を中心に、地域の方と一緒に耕作されていない農地（775㎡）の草刈りを行った。



草刈りの様子

③今後の展開と方向性

遊休農地発生防止のための活動の実施

- 今回の草刈りを行った農地が、再度耕作放棄地にならないように花を植える計画をしている。
- 今後も農地パトロールを継続して行う。